

日羽協試験方法	かさ高性の圧縮回復性試験	JDFA-TM015 2018/03
---------	--------------	-----------------------

序文

羽毛を圧縮した時の回復性を評価するため、JIS かさ高試験における荷重増加時の圧縮高さと回復高さより、圧縮回復性を求める試験方法を定める。

引用資料：

JIS L 1903 羽毛試験方法

1. 装置

- (1)かさ高測定装置
- (2)分銅 1,000g±1g (定量増おもり)

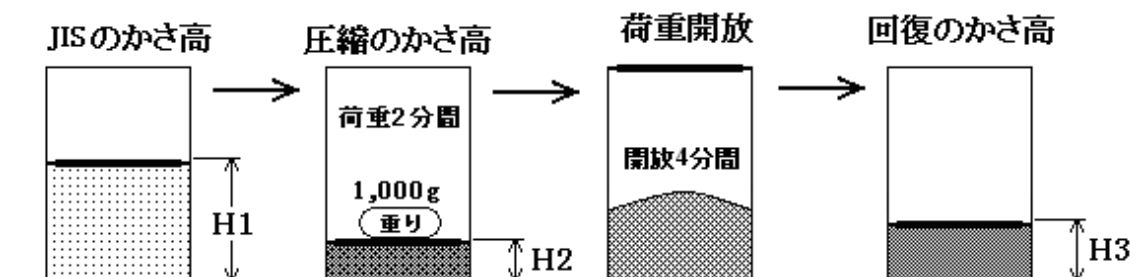


2. 試料の準備

JIS L 1903 羽毛試験方法のかさ高性試験に用いた試料を用いる。

3. 試験の手順

- (1)JIS L 1903 のかさ高測定 (荷重用円盤質量 94.3g±0.5g)
 - * 定められた手順でかさ高 (mm) を 3 回測定し平均値を求める。----- (H1)
- (2)3 回目のかさ高測定後、そのままの状態から荷重用円盤に分銅をのせる。
 - * 分銅 (1000g) は、荷重用円盤のシャフトを挟み振動を与えないようにゆっくり中央部にのせ、荷重用円盤の糸を十分弛ませる。
 - * 荷重総質量は 1094.3g となる。
- (3)荷重後、2 分経過後の圧縮かさ高 (mm) を測定する。----- (H2)
- (4)最初に、振動を与えないように注意して分銅を取り除き、次に荷重用円盤をゆっくり巻き上げる。
- (5)除重後振動を与えないようにして、4 分間開放する。
- (6)再び荷重用円盤 (94.3g) をゆっくり降下させ、試料に接触し糸が弛んだ状態になったら、すぐに回復かさ高 (mm) を測定する。----- (H3)
- (7)羽毛を回収し終了。



4. 試験結果

次の式より、圧縮率 (%)、回復率 (%)、反発率 (%) を求める (小数点以下 1 桁に丸める)。

JIS 高さ (mm) (荷重 94.3g)	1)	2)	3)	平均 H1:
圧縮高さ (mm) (荷重 1094.3g)	H2 :			
回復高さ (mm) (荷重 94.3g)	H3 :			
圧縮率(%) :	$\frac{H1 - H2}{H1} \times 100 =$			
回復率(%) :	$\frac{H3}{H1} \times 100 =$			
反発率(%) :	$\frac{H3}{H2} \times 100 =$			

以上 (2018/Mar/23)